



2022原爆と人間展が開催されました

神奈川県原爆被災者の会と県内生協が連携して取り組む「原爆と人間展」を、今年もそごう横浜店前の「新都市プラザ」で開催しました。

昨年に続くコロナ禍での開催ではありましたが、今年は事前に収録しておいた被爆者6名による証言の放映を行い、証言者には当日会場に参加してもらい、放映後には参加者が直接被爆者に質問や感想等懇談できる時間をとることができました。

■ 開催日／2022年8月20日(土)～22日(月) 10時～18時(最終日は14時まで)

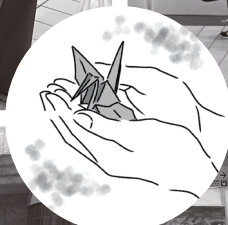
■ 参加者／7,860名

■ 会場／新都市プラザ(横浜駅東口地下2階 そごう横浜店前)

■ 内容／・ 神奈川在住の被爆者が描いた絵の展示
・ 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めるオンライン署名案内
・ 被爆証言コーナー

■ 主催／2022原爆と人間展運営委員会

神奈川県原爆被災者の会、神奈川県建設労働組合連合会、原水爆禁止神奈川県協議会、ユーコープ、パルシステム神奈川、川崎医療生協、医療生協かながわ、神奈川北央医療生協、神奈川みなみ医療生協、神奈川県生協連





新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年も「ヒロシマ子ども平和スタディツアー」は開催できませんでしたが、スタディツアー運営委員会（ユーコープ・パルシステム神奈川・生活クラブ生協・富士フィルム生協・やまゆり生協）は広島平和記念公園のオンライン碑めぐりなど学習材料をインターネット上に用意し、自由研究作品として完成できるツールを用意しました。



県政会神奈川県議会議員団の

次年度予算・政策要望ヒアリングに参加しました

8月8日、県政会 神奈川県議会議員団の次年度予算に向けた予算・政策要望ヒアリングに参加し懇談を行いました。

この懇談は、県政に関わる要望事項について、県議会各会派に伝え、2023年度の県政政策及び予算要求などに反映をはかること、ならびに生協の事業と活動に対する理解を広げることを目的にしています。懇談では、フードバンクによる食支援の進め方や食品管理に関する質疑応答や、新型コロナウイルス感染症検査キットが不足している状況とその理由について、また外国籍県民に対する県からの支援のあり方等について、意見交換が行われました。

要望項目／

1. 持続可能な地域医療・福祉を
2. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
3. 「ともに生きる」：人権が保障される共生する地域社会づくり
4. 大規模災害対策
5. 消費者行政の充実・強化
6. 脱炭素社会に向けた取り組みの推進
7. 被爆の実相を継承し、核兵器廃絶にむけた取り組み



神奈川県労福協

「2023年度に向けた政策・制度ならびに支援協力についての要請書」を提出

県生協連も参加する神奈川県労福協では、8月26日（月）神奈川県に「政策・制度要請書」を提出しました。冒頭、吉坂会長は「コロナ危機の長期化に伴う困窮者支援策や消費者対策を加盟する仲間と連携して論議を進め要請書とした。関係部局で検討した上で回答をいただきたい。労働運動と労働者福祉運動一体となり、持続可能な社会の実現に向け、貧困の連鎖と雇用の劣化、社会的な孤立の防止を重点に、公助機能の強化と支え合い・助け合いを理念とする『共助』機能の発揮をめざして活動していく」と挨拶し、市川事務局長が要請書の概要説明を行いました。

要請書を手にして神奈川県・河鍋産業労働局長は、「神奈川県労福協は、生活相談ネットやフードバンク活動など、人と人のつながりを大事に、持続可能な社会の実現向けに取り組んでおり、庁内において十分に検討して書面で回答するとともに県政に反映したい」と挨拶がされ、神奈川県からの回答ならびに見解について、後日、改めて受けることとしました。





A black and white line drawing of six children of various ethnicities standing in a line and smiling. From left to right: a girl with short dark hair, a boy with short dark hair, a boy with short dark hair, a girl with short dark hair, a boy with short dark hair, and a girl with short dark hair. They are all wearing simple clothing. Above the children, there are musical notes and lines indicating sound or movement.

神奈川県消団連

「ケアラー支援について考える」を開催しました

神奈川県消費者団体連絡会では神奈川県生協連と共同で、9月8日(木)、一般社団法人日本ケアラー連盟理事の中嶋圭子さんをお招きして「ケアラー・ヤングケアラーの現状と課題」をテーマに公開学習会を開催しました。無償で家族や身近な人の介護や、日常生活の世話などをするケアラー、18歳未満のヤングケアラーについて調査やアンケート結果を含めながら全世代で多様な介護に直面しているケアラーの困難な状況や問題点、さらには支援を具体化していくためにはどのような対応が求められているかなどお話をいただきました。

参加者より「新聞等で知ってはいたが、実際の数字を見てさらに衝撃的だった」「子どものころから安心して相談できる社会、環境が必要と感じた」など、ヤングケアラーに対する感想はもちろん、全世代の問題として地域社会でのつながりの大切さなどについても多くの感想が述べられました。

ケアラー・ヤングケアラーの
現状と課題について

～支える人を支えたい～



2022年9月8日 一般社団法人日本ケアラー連盟 中嶋圭子

お知らせ

2022年 神奈川県生協大会
一人ひとりが大切にされる社会を

生協大会は、私たちの暮らしにとって重要な社会的なテーマを学習し深め合い、今後の活動に結びつけることによって、暮らしを守り暮らしを豊かにしていくきっかけの場です。

● 日時：2022年10月13日(木) 10:00～12:00

● 会場：オンライン(zoomウェビナー)開催

*基調講演 「あなたの弱さは、社会ののびしろ」

澤田 智洋氏

コピーライター

世界ゆるスポーツ協会代表理事

*活動紹介 神奈川の生協紹介です!

*申込方法

下記URLまたは二次元コードより9月30日(金)までにお申込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/778ce7b4755821>

主催：2022年神奈川県生協大会実行委員会



消費税ネット学習会のお知らせ

検証!

消費税は社会保障に使われているのか?

「消費税は社会保障に使われているのか?」「社会保障を支える財源はどうなっているか?」、消費税研究が専門の湖東 京至税理士を講師に、データに基づき、税率が高い北欧などの事例も紹介していただき、消費税と社会保障の関係を考えます。

● 日時：2022年10月28日(金) 18:30～20:00

● 会場：Zoom使用によるオンライン

実参加の方は神奈川県保険医協会会議室(定員40名)

*講師 湖東 京至さん(元静岡大学教授、税理士)

*申込方法

下記URLまたは二次元コードより

お申込みください。

短縮URL <https://bit.ly/3TyHC16>

*お問い合わせ等は、045-473-1031 庭野まで

主催：消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク

